

人権意識の向上を目指して

～町内 5 校をオンラインでつないで実施するスクールサミット～

安八町教育委員会 学校教育課

1 はじめに

安八町には、3 小学校と 2 中学校（1 校は組合立）の合わせて 5 校がある。安八町では、「主体的に考え行動できる児童・生徒の育成」に向けて、平成 28 年より、5 校の代表児童・生徒が一堂に集まって意見交流する「スクールサミット」を実施してきた。コロナ禍で令和 3 年度は中止にしたが、令和 4 年度からは、オンラインで各校を結び意見交流することにした。各校の取組を知り、さらによりよい学校を目指して児童生徒自らが学校改革に取り組む意識を育成したいという願いで年に 1 回ではあるが貴重な機会として実施している。

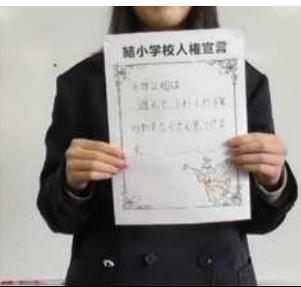
本年度は、安八町内の 5 校の共通課題である「自己肯定感」の低さの打開を目指して、各学校で行っている人権教育を交流しあうことで、児童生徒自身が自分たちの学校生活を見つめ直し、自分たちの力で仲間とともに人権感覚を磨き、よりよい学校生活につなぎ、一層人権教育を活発化させていきたいと考え実施した。

2 令和 5 年度 安八スクールサミットの実施要項（メイン会場校：登龍中学校）

- | | |
|--|--|
| (1) 日時 | 令和 5 年 11 月 14 日（火） 15:00～16:00 |
| (2) 場所 | Web による開催 Microsoft Teams 内「安八町学校間 Web 会議室 1」を使用 |
| (3) 参加者（メイン会場に参加：町 PTA 連合会会長、町教育委員会、教頭、主幹教諭） | ・各校：児童生徒代表、学校職員代表 |
| (4) ねらい | ・各学校の人権教育の取組を交流することで、各学校同士の連携を深め、児童生徒主体の取組の充実を図る。
・各学校の実態や人権教育の取組をもとに、自分たちの姿を見つめ直し、一人一人が自分の力で生きていく力を身に付ける。 |
| (5) 内容 | ・全小中学校で人権共通アンケートを実施した。
・アンケート結果から各学校の強み（良さ）と弱さを分析した上で人権の取組を行った。
・当日は、中学生の司会で進行し、各学校の人権教育の取組の交流と感想交流を行った。 |

3 各校の実践（上から順に名森小・牧小・結小・登龍中・東安中）

アンケート分析	具体的取組
・挨拶をする人を選んだり、返さなかったりする人がいる。 →仲間を大切にするために、挨拶の取組を大切にする。	○ちょぼら Friday →ちょこっとボランティアの略。毎月最後の週の金曜日に誰かのために頑張っている仲間を見つけカードに書き掲示する。 ○かがやき見つけの全校放送 →発表したい仲間を募り放送。11 月の終わりまで予約がいっぱい。 ○ひびきあい週間に向けての取組→各学級で「ひびきあい宣言」をつくる。
・仲間の良さから、友達を呼び捨てにしたり、言葉遣いが悪くなったりする。→「親しき仲にも礼儀あり」と	○2 週間ごとにテーマを与えられ各学年にいる 2 人の人権委員を中心に取り組む。テーマはぐんぐん元気・にこにこあいさつ：ぴかぴか命・どんどん読書・ほかほか言葉・もくもく掃除の 6 つをローテーション。 ○あいさつの取組では、クラスで決めためあてが 80% 達成できたたら人権の花びらを貼る。良い結果でないときは再度取り組む。

<p>あるように、仲が良いからこそ「さん付け」をして礼儀を考えるようにする。</p>		<p>○親子ふれあい人権タイム（親子でDVDを見て話し合ったり、家庭での人権宣言を決めたりする。）</p>
<p>・「うざい」「死ね」「きもい」という言葉を使ってしまう。 →相手のことを考えて、思いやりのある言葉を伝えたり、思いやりのある行動をしたりする。</p>	<p>○「ふわふわ言葉・ふわふわ行動」 →思いやりのある言葉を伝えたり、行動をしたりする。 ○「学級人権宣言」を決め宣言を実現するためのキャンペーンを行う。「ふわふわシャボン玉キャンペーン」を行う。仲間の温かい言葉や優しい行動をシャボン玉に見立てた紙に書いて広めていく。 →ひびきあい集会で交流していく。</p>	
<p>・特定の人が自分の席に触れたり、机をつけて活動することが嫌に思うたりする生徒がいる。 →差別や偏見におかしいと気付き周りに伝えられる。 ・小集団による授業において、「わからない」と言えたり、自分の意見を誰にでも伝えられたりするようにしたい。「伝える」ことにこだわる。</p>	<p>○エンジェルリング活動→仲間の良さ見つけ活動 ○学級集団エクササイズ→テーマについて話し合い、ロールプレイをして、聞き方話し方をトレーニングする。 ○自分の特性を振り返り、指定された特性に対しての色をハートの形に塗りそれを見せて小集団で交流する。（人権スタート集会）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="481 887 928 1214">  <p>自己の特性を振り返る</p> </div> <div data-bbox="951 887 1398 1214">  <p>エンジェルリング活動</p> </div> </div>	
<p>・煌めき龍星群～煌めき認めをあたりまえに～ 無意識のうちに仲間を区別してしまうのは、相手のことをよく知らないからではないか？もっと関わりを増やし誰に対してもよさを見つける目を意識的に仕組む。</p>	<p>○良さ見つけ 第一段「煌めき認めの習慣化」 ～めざせ全校 1500 枚～（実際は 3000 枚達成） 第二段「質で感じる充実感」 ～学級一押しカード放送（委員会との連携） 第三段「本物に近づく充実期」 ～学級独自の取組など：ひびきあい集会での発表</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="472 1303 785 1541">  <p>目指せ 1500 枚</p> </div> <div data-bbox="472 1550 1437 1662"> <p>○「龍児新聞」生徒会による新聞を定期的に発行。新聞には、生徒会が見つけた仲間の良さを紹介する。 ○先生が見つけた龍児の煌めきコーナー</p> </div> </div>	

4 おわりに

参加した児童生徒は、「よいこと見つけをしているけれど、中学校が取り組んでいる『自分には自分でも気づいていない良さがある』ということを感じられるように内容を深めていることを知り、自分の学校でも考えていきたい」「全ての学校の発表を聞いて、安八町では『挨拶・言葉遣い』について考えていかなければいけないと分かった。自分の学校でも、相手の気持ちを考え、思いやりをもった行動をとることを、もう一度考えていきたい」と主体的な感想をもつことができた。交流を通して、さらに各校で工夫した取り組みを考え、継続的・計画的な実践につないでいきたい。